

## 雑誌掲載論文内報

下記のとおり掲載論文目次をあらかじめ内報いたします。御覧の上、貴社製品の関係ある論文がございましたら、広告掲載にご利用くださるようお薦め申し上げます。

(株)医学書院 販売・PR部 TEL 03-3817-5696

## 誌名 臨床皮膚科（月刊）

巻号	第80巻 第5号	2026年増刊号	
発行	B5判	5000部	オフセット
広告締切	2026年03月20日		
発行予定	2026年04月27日		

※広告料金の詳細につきましては、お申し込み先の広告代理店にお問い合わせください。

区分	論文題名	執筆者名	所属
	<b>特集／最近のトピックス 2026</b>		
	I. 最近話題の皮膚疾患		
	エムポックスウイルス感染症	中澤亜美香、原田和俊	東京医科大学皮膚科
	皮膚科が遭遇するかもしれない重症熱性血小板症候群	近藤 誠	三重大学皮膚科
	パンガシウスによる成人魚アレルギー	野村昌代	藤田医科大学ばんだね病院皮膚科
	Icthyosiform sarcoidosis	石崎莉子	群馬大学皮膚科
	NT5E 遺伝子変異を認めた CD73 欠損症	中野 瞬、他	福島県立医科大学皮膚科
	II. 皮膚疾患の病態		
	表皮細胞と老化	中溝 聡	京都大学皮膚科
	好酸球由来物質による水疱性類天疱瘡の水疱形成機序	伊東孝政	北海道大学皮膚科
	ステロイドパルス治療抵抗性円形脱毛症の末梢血 T 細胞サブセットの特徴	高橋 良、大山 学	杏林大学大学院医学研究科共同研究施設フローサイトメトリ部門
	特発性後天性全身性無汗症に対するステロイドパルス療法の予測因子による層別化	藤田真依子、他	東京科学大学皮膚科
	末端型メラノーマの浸潤リンパ球のプロファイル	箕輪智幸	札幌医科大学皮膚科
	III. 新しい検査法と診断法		
	抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎における RP-ILD のバイオマーカーとしての血清 IL-34	久住 藍	東京大学皮膚科
	画像解析技術による皮膚バリア障害の評価と皮膚健康への応用	青山裕美	川崎医科大学皮膚科
	掌蹠膿疱症 79 症例における好中球・リンパ球比の臨床的意義に関する後方視的研究	渡邊友也	横浜市立大学環境免疫病態皮膚科学
	涙液を用いた蛍光抗体間接法が病勢評価に有用であった眼症状を伴う粘膜類天疱瘡	桑折信重、他	愛媛大学皮膚科
	乳児血管腫の増大に関連するバイオマーカー	宮崎 健、神人正寿	和歌山県立医科大学皮膚科
	IV. 皮膚疾患治療のポイント		

栄養障害型表皮水疱症に対する局所遺伝子治療 (B-VEC) の有効性と安全性	夏賀 健	北海道大学皮膚科
伝染性軟属腫のカンタリジンによる治療	門野岳史	聖マリアンナ医科大学皮膚科
化膿性汗腺炎の治療アップデート	葉山惟大	日本大学皮膚科
慢性特発性蕁麻疹のオマリズマブからデュピルマブへのスイッチ	伊東真奈	日本大学皮膚科
Stevens-Johnson 症候群および中毒性表皮壊死症患者に対する副腎皮質ステロイド全身療法無効後の初回治療としての血漿交換と免疫グロブリン療法の比較評価	宮本雄気	京都府立医科大学救急医療学
急速進行性円形脱毛症に対する点滴静注ステロイドパルス療法の長期予後	福山雅大	杏林大学皮膚科
皮膚動脈炎の治療戦略	田中 諒、他	立川病院皮膚科
皮膚型結節性多発動脈炎に対する全身性ステロイド療法および非ステロイド性全身療法の必要性和予後を特徴づける臨床・検査所見：単施設での後ろ向き解析	三石 剛	さいたま赤十字病院皮膚科
足底の尋常性疣贅に対するマイクロ波治療	栗山裕子、他	群馬大学皮膚科
Keystone flap とその変法による再建の有用性について	太田円莉、他	NHO 高崎総合医療センター皮膚科
V. 皮膚科医のための臨床トピックス		
抗 p200 類天疱瘡の自己抗体：抗ラミニン $\gamma 1$ 抗体と抗ラミニン $\beta 4$ 抗体	古賀浩嗣	久留米大学医学部皮膚科
ネモリズマブ治療と類天疱瘡— IL-31 標的治療の止痒効果と安全性の再考	佐藤絵美、他	福岡大学医学部皮膚科
薬剤性過敏症候群患者におけるサイトメガロウイルス感染のリスク因子：全薬疹患者との比較	宮川 史	奈良県立医科大学皮膚科
重症薬疹の JAK 阻害剤による治療の可能性	長谷川瑛人、阿部理一郎	新潟大学皮膚科
患者生成データ×画像 AI で進化するアトピー性皮膚炎の重症度評価	雁金 詩子	慶應義塾大学皮膚科
皮膚科におけるアナフィラキシーの診療実態	猪又直子	昭和大学皮膚科
疾患啓発と当事者の声が導いた北海道北るもい地域の納豆アレルギー調査	黒鳥偉作	北海道大学公衆衛生学
尋常性白斑診療ガイドライン第 2 版 2025」改訂のポイント	大磯直毅	近畿大学奈良病院皮膚科
メラノーマ診療ガイドライン 2025 の意義—東アジア発エビデンスに基づく診療指針の確立	福島 聡	熊本大学皮膚病態治療再建学講座
日本皮膚科学会における災害対策	長谷川稔	福井大学皮膚科学
	六戸大樹	弘前大学皮膚科
	角田加奈子	岩手医科大学皮膚科
	野老翔雲	獨協医科大学皮膚科
	濱 菜摘	新潟大学皮膚科
	高村さおり	埼玉医科大学総合医療センター皮膚科

	中村善雄	慶應義塾大学皮膚科
	入澤亮吉	東京医科大学皮膚科
	太田真由美	東京慈恵会医科大学皮膚科
	棚橋華奈	名古屋大学皮膚科
	山北高志	藤田医科大学皮膚科
	荒川明子	滋賀医科大学皮膚科
	丸山彩乃	京都府立医科大学皮膚科
	遠藤雄一郎	京都大学皮膚科
	廣保 翔	大阪公立大学皮膚科
	稲葉 豊	和歌山県立医科大学皮膚科
	馬屋原孝恒	川崎医科大学皮膚科
	橋川恵子	久留米大学皮膚科
	酒井貴史	大分大学皮膚科
	宮下 梓	熊本大学皮膚科

特記事項

※冊子制作の都合上、発行予定日、掲載内容、および執筆者を予告なく変更する場合がございますことをご了承ください。確定内容につきましては、弊社編集室へ直接お問い合わせください。